

上尾市子ども・子育て会議での「子どもの貧困対策計画(案)」についての意見及び質問事項

No.	意見及び質問者	意見及び質問事項	回答
1	小林委員	計画書案46ページなど、現状値と目標値に変化がないものはどのような意図があるのか。現状維持ということであれば、目標設定として適切といえるのか。書き方に工夫が必要ではないか？	指標の現状値と目標値に変化のないものについては、現在の取組みを継続していく目的としました。指標と定めた理由などが分かり易くなるよう標記の仕方の工夫を行います。
2	入野委員	各柱に対する目標設定が適切といえるのか。保育に関する指標でいえば、51ページにおいて、現状と目標に変化がないものが見られるが、指標として適切といえるのか。	同上の回答となります。
3	入野委員	今回の計画で挙げられている事業は、すべて既存事業なのか。	既に行っている事業が多くなってはいますが、新規事業についても計画しており、新規事業がどの事業なのかを分かり易く表記していきます。
4	外石委員	計画に対する効果測定を行うことが重要であると考え、定期的に子どもたち向けの調査を行うことを検討していただきたい。	子どもの意見を聞き取るため、ヤングケアラー実態調査、第3期子ども・子育て支援事業計画を行うにあたり、子どもに対する調査の事業を行います。
5	戸野部委員	国の大綱等でも、学校をプラットフォームにしていくことを謳っている。学校を中心とした動きが重要と考えるが、今回の計画案では、学校に関する指標が少ないことが残念に思う。また、アドバイザーから頂戴した貴重なご意見を、できる限り反映させるよう努力してほしい。	アドバイザーからの意見については、できる限り反映します。
6	小林委員	パブリックコメントを募集するにあたり、市民の方々からご意見を十分にいただけるように、周知方法や期間を考慮してほしい。	子ども支援課、市役所情報公開コーナー、各支所・出張所、各公民館、ホームページで十分な意見をいただけるよう周知していきます。
7	小林委員	社会的に見て、ヤングケアラーに対する関心が高まっていると感じている。貧困問題にも結びつく重要な課題であることから、43ページにある『目指すべき姿』において、ヤングケアラーという言葉を追加してほしい。	43ページに「ヤングケアラー」の文言を追加していきます。
8	小林委員	貧困の状況にある子どもは、自分自身でそうだと気付くこともなく、相談にも至らないケースも想定される。こうした子どもたちに気づきを与えたり、声を吸い上げたりするような方策を取り入れてほしい。	子どもの意見を聞き取るため、ヤングケアラー実態調査、第3期子ども・子育て支援事業計画を行うにあたり、子どもに対する調査の事業を行います。
9	新藤委員	計画書案48ページなど、指標の数値が入っていないものはどのような理由か。	指標の数値は調整中であるため数値を入れておりませんでした。調整が付き次第、数値を入力いたします。
10	新藤委員	日本語指導員数が現状17人→目標17人で変化がない。現状では足りないという声も聞いたことがある。目標設定について再度検討していただきたい。	アドバイザーからの意見を受けて、「日本語指導員による児童・生徒対応率」と変更いたしました。
11	鈴木委員	事業として挙げられている「福祉の総合窓口」とはどのようなものか。	健康福祉部で検討しておりますが、ワンストップ福祉相談窓口をイメージしております。
12	入野委員	各柱の中で設定している指標は、市民から見ると注力している業務と捉えられる。このように考えたときに、目標設定が適切かどうか、全体的に見直していただきたい。現状で100%できているものを指標に挙げることは、違和感を感じる。指標にしやすいものを挙げるのではなく、「こうしていきたい」という行政の意志を感じるものにしてほしい。	検討します。
13	入野委員	市民がみても、何が新しい事業なのか分かり易くしたらよいと思う	分かり易く記載していきます。
14	戸野部委員	指標における「現状」の捉え方が、異なっているように感じる。例えば就学援助の指標について、情報を与えている側の数値＝周知率ではなく、受け手側からの確認が必要なのではないかと考える。指標の設定については、改めて検討してほしい。	指標の設定については、表現の仕方などを含めて検討いたします。
15	鈴木委員	包括的支援の中に、「包括的性教育」も入れた方がいいと考える。	貧困対策計画に限った問題ではありませんので、教育委員会にご意見は伝えます。
16	桑原委員	福祉の総合窓口の設置を目指すところがあるが、大変有効であると考え。福祉の現場に携わった経験から、複合的な問題を抱えているケースが多く、チームでケアしていかなければならないと感じている。まずは設置が目標になると思うが、関係機関との連携の場となるように努めていただきたい。	ご意見を賜りました。
17	新藤委員	計画書案39ページにある、「課題として、市以外のネットワークとは連携しているが、行政との連携がないという声や双方向の関係性、守秘義務のある者同士の連携強化を求める声もある」という意見を大切にしてほしい。	関係機関との連携は重要だと考えています。既存にある子ども支援ネットワークなどを利用し、必要に応じて会議の開催等連携を図ります。